

別図第八号(第36条の2第2項第2号関係)

1 インマルサットM型を使用するもの

同期符号	呼出しの種類 (注1)	自局の識別表示	相手局の識別表示	自局の位置 (注2)	通報の優先度 (注3)	自局の位置 (注4)	通報の型式 (注5)	誤り検定符号
------	----------------	---------	----------	---------------	----------------	---------------	---------------	--------

注1 「11000001」であること。

注2 空中線の仰角の範囲をコード化したものであること。

注3 「01」であること。

注4 空中線の方角の範囲をコード化したものであること。

注5 引き続いて行う通報の型式等をコード化したものであること。

2 インマルサットF型を使用するもの

同期符号	呼出しの種類 (注1)	自局の識別表示	相手局の識別表示	通報の型式 (注2)	通報の優先度 (注3)	自局の位置 (注4)	誤り検定符号
------	----------------	---------	----------	---------------	----------------	---------------	--------

注1 「01100011」であること。

注2 引き続いて行う通報の型式等をコード化したものであること。

注3 「01」であること。

注4 船舶の位置をコード化したものであること。